

## 教員業務内容報告書

報告者氏名	中尾哲也	所属	機械	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画		実績		記載事項例		
	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	30	<p>担当科目:工業力学, 機械力学, 制御工学, 四力学演習, 機械工学実験, 機械要素設計実験, 計算力学, 応用情報処理演習, 創造工学実験</p> <p>教育方法改善内容:Teamsと今般導入されるWebClassを活用して, 学生個々人の習熟度, 達成度を客観的, 総合的に判断できるようにして, 定期試験へ万全の態勢で臨めるように工夫する. 機械要素設計実験において, 振動計測を客観的に行えるよう改善する. 創造工学実験において昨年度実施方法を変更しているので今年度はさらに発展させる.</p>			担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容		
研究	20	超電導アクチュエータについて, 現状を整理し制御機構を改良, 実験検討を行っていく. パラレルリンク制振制御について, 駆動とセンサ系を分離しDQNによる実機制御を行う. また, 協働作業について可能性を模索する. 技術相談, 共同研究への問い合わせに対して分野が合致すれば積極的に参画する.			論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金		
学生生活指導	10	サイクリング同好会顧問として, 日々の鍛錬への啓蒙と安全配慮について指導する. 夏合宿の実施に向けて全面的にサポートする. 自動車部副顧問として, 学生への支援と顧問のサポートを積極的に行う.			クラブ顧問 コンテスト指導		
校務・管理運営	30	学生相談室長として, 相談業務の効率化と学内連携の強化を図る. 学生相談室業務や広報を行う. Teams上の電子カルテについて, 面談事跡や学生の客観的状況(成績, 出席, アンケート結果等)を集約し活用する. 学外カウンセラー, スクールソーシャルワーカーにTeamsを活用していただく.			主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員		
社会活動	10	所属学会名:日本機械学会, 日本ロボット学会, 日本AEM学会 公開講座(社会人向け, 中学生向け)の円滑な実施と満足度向上			所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動		

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示, 最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt~12ptとし, 記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。